

令和 7年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	87,000	98,756	(11,756)	110,738	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	54,404,000	54,404,000	0	53,583,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	54,491,000	54,502,756	(11,756)	53,693,738	
支出	人件費	21,378,000	23,128,884	(1,750,884)	23,938,252	
	事務費	1,866,000	1,411,899	454,101	1,573,408	
	管理費	15,829,000	15,613,710	215,290	13,938,045	
	自主事業経費	125,000	19,857	105,143	19,862	
	光熱水費	14,378,000	19,689,052	(5,311,052)	23,543,112	
	リース料	915,000	888,360	26,640	789,360	
	その他	0	0	0	0	
	支出総額	54,491,000	60,751,762	(6,260,762)	63,802,039	
収支差額	0	(6,249,006)	6,249,006	(10,108,301)		

3. 総合評価

自己評価

令和7年度の年間火葬件数は1,550件に届かず、前年度より250件ほど減少しました。理由は分かりませんが、近隣市も減少しているようでした。繁忙期でも、施設利用者への公平なサービス提供ができるよう心がけ、施設利用者及び葬儀業者からの苦情をいただくことはありませんでした。人生終焉の場として厳かな空間を提供できるよう、引き続き職員の技術研鑽を積み重ね市民サービスの向上を図ります。葬儀業者からの簡易告別式や霊安室利用にも問題なく対応することができました。火葬炉運転業務は火葬炉メーカーのノウハウを活かし、環境に配慮しながら無事故運転を実施しました。驕ることなく気を引き締めて引き続き努めてまいります。収支につきましては、ここ数年続く光熱水費の高騰の煽りを受け、想定以上の赤字決済(▲6,249,006円)となりました。節電や消耗品などの削減を試み、市にも相談しましたが、物価高騰による光熱水費の赤字を補填するには至りませんでした。このような状況でも施設利用者にご不便をおかけしないよう公平なサービスの提供に努めました。令和8年度も物価高騰による光熱水費の増加が見込まれますが、施設の予防保全を重視し、市に相談しながら管理運営を努めさせていただきます。今後も施設利用者からの要望及び葬儀業者からの意見をもとに市民サービスの向上に努めてまいります。

市評価

令和6年度に比べ、年間火葬件数は減少しましたが、繁忙期でも施設利用者や葬儀業者への丁寧な対応を継続し、苦情もなく安定した管理運営をなされたことは高く評価できる。引き続き市民サービス向上に向けて技術研鑽や接遇向上に努めてもらいたい。収支については、光熱水費の高騰が主因による赤字となったものの、節電や消耗品などの削減を試み、赤字縮小に努められたと認識している。外的な要因による収支への影響が大きい中、情勢を注視し、また市と密に連携しながら、創意工夫による業務改善等を期待したい。

令和8年度は引き続き社会情勢等に起因する光熱水費の高騰が懸念されるが、施設の適正な維持管理に努めるとともに葬儀業者や利用者からの意見をもとにサービス向上に努めていただきたい。また件数の変動にも柔軟に対応できる運営体制の構築を期待する。